




シラバス参照

タイトル「2020年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	問題探究セミナー I		
担当教員	沼田 大輔		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:B
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
備考			
特修プログラム		ナンバリング	g3310010
教育目標との関係 (DPポイント配分)	基盤教育 基盤教育	最新の専門知識及び技術 本質を見極めるための教養と学際性 協働的な問題探究 社会の改善につなげる創造性 市民としての主体的態度	20 % 20 % 30 % 20 % 10 %
授業方法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> 発表 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション <input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> ICT機器の活用		
授業概要とねらい	2020年7月に福島市で東京オリンピックの野球とソフトボールが開催され、関連イベントが実施されます。一方、福島市をはじめ福島県は、1人あたりのごみ排出量が多い傾向にあります。この演習では、前期に考えた、福島市でのオリンピックとごみをベースに、各自が何らかの祭りに参加し、そこでのごみ減量、環境への取り組みについて考えます。そして、受講生の今後の大学生活において必要になるアカデミックスキルを、グループワークの中で学んでいきます。		
単位認定基準	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで協働的に課題に取り組むことができる。 ・形式を守った発表資料・レポートを作成することができる。 ・設定されたテーマについて他者に伝えることができる。 ・福島市でのオリンピックとごみについて検討した。 		
授業計画	第1回 夏休みの振り返り、後期の予定の説明 第2回 東京オリンピック福島大会のふりかえり 第3回 何かの祭りについての事前学習 第4回 何かの祭りについて環境の側面から考える 第5回 何かの祭りへの参加 第6回 何かの祭りへの参加のふりかえり 第7回 プレゼンテーションに必要なことを考える 第8回 プレゼンテーションづくり 第9回 お互いのプレゼンテーションの確認し合い 第10回 上級生の発表を聞き、質問する 第11回 日常生活で大学の外から学ぶ 第12回 レポートの作り方を考える 第13回 レポートづくり 第14回 お互いのレポートの確認し合い 第15回 自己PR、今後の演習科目について		
教材・教科書	適宜、指示します。		
参考図書	適宜、指示します。		
参考URL	適宜、指示します。		
授業以外の学習	適宜、課題を出します。		
成績評価の方法	a. グループワーク等への参加・貢献状況 b. プレゼンテーションの形式・内容 c. レポートの形式・内容 * b, cについて、「内容」についても評価の観点とする。		

成績評価の基準	S: 単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた(90-100点) A: 単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた(80-89点) B: 単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた(70-79点) C: 単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた(60-69点) F: 単位認定基準の学修成果をあげられなかった。(-59点)
オフィスアワー	授業への質問・意見・相談などを、授業時間外で希望する学生は、授業後もしくは電子メール等でその旨を申し出てください。お互いの都合を調整して、対応します。
授業改善・工夫	毎回、演習の内容に関する感想・コメントを受講生に記述してもらい、それを次回以降の演習に生かします。
留意点・注意事項	
教員の実務経験の有無	



Copyright (c) 2004-2011 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.